

これで勝負！

大消費地にいどむ
首都圏農業

■ 152 □

深谷市 吉田さんち

【埼玉】深谷市の「吉田さんち」は仲の良い兄弟3人で経営する法人だ。ブロッコリー、ネギ、トウモロコシ、イチゴを栽培している。

三兄弟は農家の3代目。以前は個人事業主として別々に経営していたが、規模拡大に伴い、業務効率化や収益力強化をめざし2024年に統合した。

大らかな性格の長男・孝さん(49)は、会社や人事など人に関わる業務を

三兄弟、「味」で結束



「吉田さんち」直売所の前で。左から拓哉さん、将城さん、孝さん

が最高潮にある深夜2時から収穫を開始する。

将城さんは母が代表を務める障がい者支援のNPOも兼務する。雇用創出のため、自社農園の作業だけでなく地域の農家にお願いで仕事を取ってくる。「やるべきと

思ったことは全力でやる」という強い信念がある。3人は会社の方向性について日ごろから意見交換してベクトルを合わせる。お互いを尊重し、従業員を含めたチームが一丸となり、信じた道をま

品種は厳選した「ゴールドラッシュ」と県オリジナルイチゴの「あまりん」で、トウモロコシは糖分

「原発の風評被害やひ